



研究者名※	是澤紀子 KORESAWA Noriko	学位※	博士(工学)
所属※	建築デザイン学部 建築デザイン学科	職名※	教授
連絡先	@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/read0153738">https://researchmap.jp/read0153738</a>		
研究分野※	文化財保存学, 建築史学		
研究キーワード※	歴史的建造物, 保存, 再生, 景観, 神社		
共同研究・競争的資金等の研究課題	2019年～現在 中近世の神社にみる移動と再生に関する建築史学的研究(科学研究費補助金基盤研究c) 2016～18年度 中近世の神社の維持保全に関する建築史学的研究(科学研究費補助金基盤研究c) 2012～15年度 神社建築と信仰の景観に関する研究(科学研究費補助金若手研究B)		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴	Session Award (The 11th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia), 2016年9月 財団法人前田記念工学振興財団 山田一字賞 (学位論文), 2007年6月 Excellent Presentation Award (The Third International Conference on Human-Environment System), 2005年9月		

研究領域	(SDGs)
研究テーマ※	土地の文脈を生かした保存・再生
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 文化財保存学と都市・建築史学を両輪に、今日までの歴史的な都市・建築とそこでの居住環境を読み解くことで、土地の文脈を生かした保存・再生につなげることを目指して研究を行っています。現場には、文献資料だけでは得られない多くの発見があります。そのような現存するモノと環境が語る文脈を読み解くことを大切にしています。</p> <p>【応用例、研究の展望と研究方法の特色】 寺社を中心として、周辺環境から境内、建築の細部装飾へと、それぞれのスケールでみた意匠とその意味に関する研究や、そこでの自然環境や文化などに着目し、歴史学的かつ生態学的枠組みから保存・再生のための指標を探る研究をしています。とくに中世後期から近世にかけて、装飾が発展してゆく神社本殿とその景観を対象に、信仰とともに人々が神社に求めた建築や景観と、そこでの意匠的特質について解明することに最大の関心をもって取り組んでいます。そのために、建築史学にくわえて、建築環境学、歴史地理学、民俗学などの多岐にわたる分野を視野に入れることによって、寺社と周辺環境を含めた一体的な景観としての過去の文脈を捉えていきます。さらに、そうした多岐にわたる学問分野と、現代における環境保全学や保存修復学、保存行政との融合を目指して、建築や景観を包括的に捉えることができるよう、研究領域の拡大を試みています。</p>
本研究関連特許・論文等	
共同研究・外部機関との連携への期待	